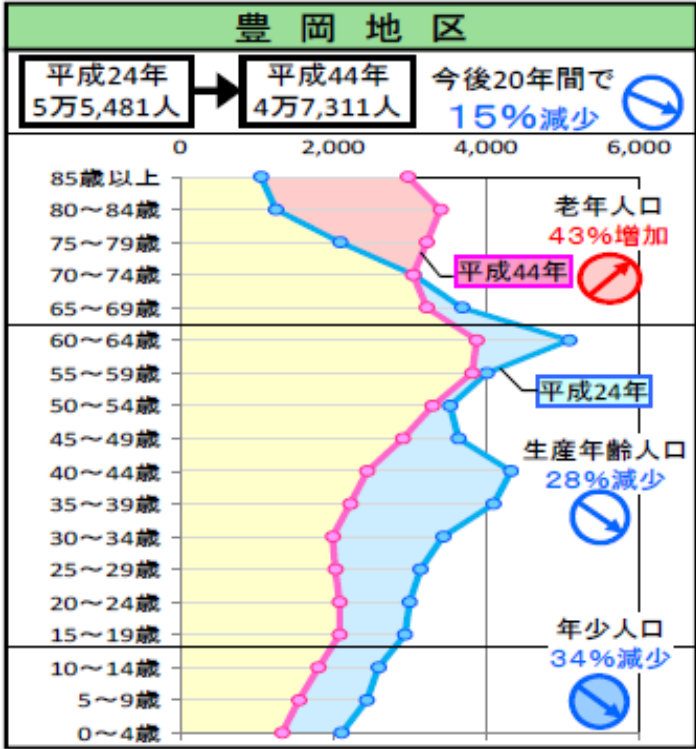


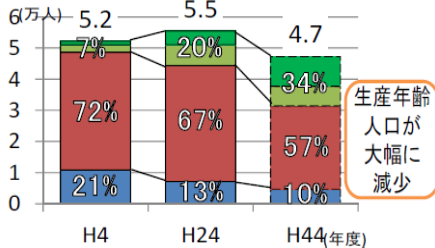
豊岡第 1 地区の概要

【人口動向】



〔人口動向の特徴〕

- 人口密度が高く、市民の約 37%が居住している地区です。
- 平成 4 年と平成 24 年の比較で、生産年齢人口及び年少人口が大幅に減少しており、今後の推計でもさらに減少が予測されています。
- 老年人口は急激に増加しており、今後もその傾向は続く予測され、高齢化はますます進みます。



	平成 24 年(比率)	平成 44 年(比率)
老年人口	11,128 人(20%)	15,874 人(34%)
生産年齢人口	37,215 人(67%)	26,754 人(57%)
年少人口	7,138 人(13%)	4,683 人(10%)

【公共施設の配置状況】

施設の種類	施設名
地域対応施設	公民館 扇町屋公民館 久保稲荷公民館
	小学校 扇小学校
	中学校 向原中学校
	保育所 豊岡保育所
	学童保育室 扇・扇第二学童保育室
広域対応施設	扇台福祉作業所

〔施設配置の特徴〕

- 地区内に公民館が 2 施設あり、統合の対象となりますが、いずれも地区の端に位置しており、バランスがとりにくくなっています。
- 公民館以外の地域対応施設は 1 施設ずつとなっており統廃合の対象となりません。
- ただし、保育所は豊岡地区で 1 施設とする案であるため、豊岡保育所、高倉保育所、黒須保育所を統合する必要があります。

【公共施設の現状と課題】

- 扇町屋、久保稲荷両公民館は、建物としては築 30 年程度であり、今後計画的な改修を行う必要があります。また、稼働率は、扇町屋公民館が 40%、久保稲荷公民館は 33%となっており、利用状況としては活発ではありません。
- 扇小学校は築 43 年、向原中学校は築 40 年となっており、老朽化が進んでいます。学級数及び児童生徒数は両校とも市内でも多い学校の一つです。
- 豊岡保育所は築 46 年と老朽化が進んでおり、早急な対応が必要な状況となっています。平成 28 年度は、定員に対して 73%（定員 150 人/入所 110 人）の入所率であり、比較的余裕がある状況です。
- 学童保育室については、扇学童保育室と扇第二学童保育室の 2 つの学童保育室が学校の隣接地に併設されています。平成 28 年度には、定員に対して扇学童 96.7%（定員 60 人/入所 58 人）、扇第二学童 92%（定員 50 人/入所 46 人）の入所率であり、近年は定員超過から定員いっぱい傾向です。

【地区の成り立ちと現状、将来の見通し】

〔地区全体〕

- 豊岡町のころから地区の行政、商業の中心地であった扇町屋地区に、多くの公共施設が設置されていました。昭和 40 年代以降は、人口増加に対応して東町地区や黒須・高倉地区にも公共施設が整備されてきました。
- 昭和末期から平成の初めにかけて入間市駅周辺の再開発が進み、入間市駅から豊岡、扇町屋地区にわたって中心市街地が形成されました。
- この地区には、市役所、市民会館、市民体育館、産業文化センターなど、広域的な公共施設が多数設置されています。
- 人口については、市内で最も密度が高い地区ですが、今後 20 年間では人口が約 15%と大幅に減少する予測となっています。また、人口の年齢構成も年少人口、生産年齢人口が減少する一方、高齢者人口は 43%と大幅に増加する見込みです。

〔豊岡第 1 地区〕

- 地形的には平坦で地区面積は藤沢第 2 地区に次いで小さくなっています。入間市駅と武蔵藤沢駅を結ぶ路線バスが運行しており、公共交通の利便性は高い地区です。
- 幹線道路沿いに一部商業施設が所在していますが、主として住居中心の地区です。
- 土地区画整理事業が進行中ですが、大規模な宅地開発等の計画はないので、若年層の流入は少なく、高齢化が進んでいます。

【施設配置図】



【公民館の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
扇町屋公民館	985.75 ㎡	昭和 60 年	32 年	RC 造	市
久保稲荷公民館	1,125.77 ㎡	平成 3 年	26 年	RC 造	一部借地

- ・両施設とも老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要となっています。
- ・久保稲荷公民館は、敷地の一部が個人所有の借地となっており、その解消を検討する必要があります。
- ・いずれの施設も周辺が住宅地となっており、敷地を拡張する余地は少なくなっています。

②利用状況

	利用件数	利用者数	稼働率	住民 1 人当たりの年間利用回数	トータルコスト
扇町屋公民館	3,311 件	41,219 人	40%	1.8 回	3,685 万円
久保稲荷公民館	3,143 件	45,066 人	33%	5.7 回	4,426 万円

- ・利用者数については、両施設とも全公民館の平均利用者数の 39,793 人を上回っています。
- ・稼働率については、両施設とも低く、特に久保稲荷公民館は、全公民館の平均稼働率 34%も下回っています。
- ・住民一人当たりの年間利用回数を見ると、扇町屋公民館は全公民館の平均利用回数の 3.6 回を大きく下回っています。
- ・トータルコストについては、全公民館の平均額が 4,069 万円であるため、扇町屋公民館は下回っていますが、久保稲荷公民館は大幅に上回っています。

【小中学校の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
扇小学校	6,920 ㎡	昭和 49 年	43 年	RC 造	市
向原中学校	6,191 ㎡	昭和 52 年	40 年	RC 造	市

- ・両施設とも築 40 年超と老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要です。
- ・小中学校とも地区内に 1 施設ずつであり、統廃合の対象とはなりません。
- ・扇小、向原中とも地区の南部に配置されています。

②利用状況（各年 5 月 1 日現在）

	平成 24 年度 児童生徒数	平成 24 年度 学級数	平成 29 年度 児童生徒数	平成 29 年度 学級数	児童生徒数 減少率
扇小学校	854 人	20 学級	820 人	26 学級	3%
向原中学校	569 人	15 学級	512 人	14 学級	10%

- ・5 年前と比較すると、扇小学校の児童生徒数の減少率は緩やかですが、向原中学校の減少率は 10%と大きな減少率となっています。
- ・扇小学校が各学年 3～5 学級、向原中学校が 4～5 学級となっており、市内の小中学校の中では比較的規模の大きな学校となっています。

【保育所の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
豊岡保育所	651.60 ㎡	昭和 46 年	46 年	RC 造	借地

- ・築 40 年超と老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要です。
- ・用地が個人所有の借地となっており、その解消が課題となっています。
- ・保育所は豊岡地区で 1 施設との方向性が示されているため、黒須保育所、高倉保育所との統合を検討する必要があり、設置場所の調整が必要となります。
- ・施設の老朽化が児童数の減少につながっている可能性があります。

②利用状況

	定員	平成 24 年度 入所児童数	平成 29 年度 入所児童数	減少率
豊岡保育所	150 人	139 人	104 人	25%

- ・入所児童数は、5 年前と比較すると、25%と大きな減少となっています。
- ・入所児童数は過去 5 年間で徐々に減少しており、社会全体で待機児童の問題が発生していることを考慮すると、運営形態等が市民ニーズに合っていない可能性があります。
- ・定員に対して入所児童数が約 3 分の 2 となっており、他の保育所との統合の余地があります。

《豊岡第 1 地区の検討課題》

- ・地区内に複数ある施設は、扇町屋公民館と久保稲荷公民館となっており、統廃合を検討する施設は、公民館が対象となります。
- ・公民館、小中学校、保育所、いずれも施設の老朽化が進んでおり、統廃合や複合化に向けた整備と併せて、計画的な大規模改修や施設更新を行う必要があります。
- ・公民館の稼働率は低い状況であり、統合することにより、稼働率の向上が図られる可能性が高くなります。一方、施設が一つになることにより、距離が遠くなる方がいることから、利便性への配慮が必要となります。
- ・保育所は老朽化が進む一方、入所児童数も徐々に減少しており、施設整備を検討するのに合わせて、今後のあり方を見直す必要があります。
- ・学童保育室については、学校の敷地外に設置されている状況であり、将来的には学校内または学校敷地内に移転新設する必要があります。
- ・当該地区は、今後人口減少及び少子化・高齢化が進行することが予測されており、そのことを考慮した施設の再整備・再配置を検討する必要があります。